

# わが国の人口 (4) 婚姻

text by Takeshi Karasawa

文 唐澤 剛

図1 調査別に見た、未婚者の生涯の結婚意思

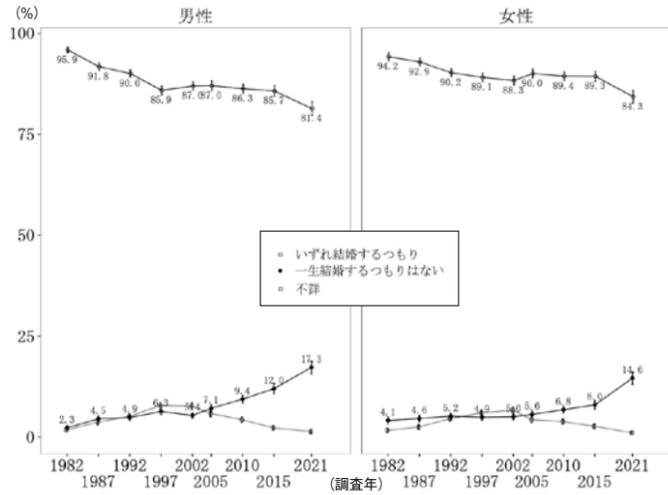
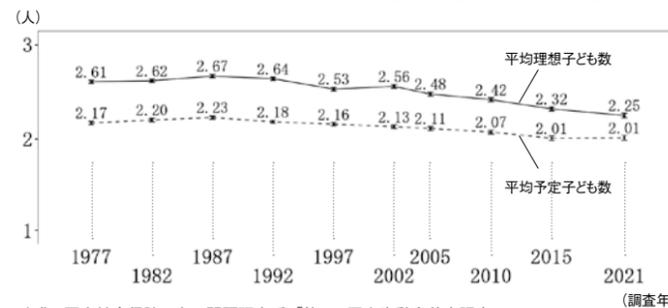


図2 調査別に見た、夫婦の平均理想子ども数と平均予定子ども数



出典：国立社会保障・人口問題研究所「第16回出生動向基本調査（結婚と出産に関する全国調査）」

と過去最大を記録しました。この婚姻件数最大の時代は、第2次ベビーブームの時代と重なります。その後、婚姻件数は減少を続け、今日では約50万件とピーク時の半数にとどまっています。

令和3年の離婚件数は、18万4384件となっています。離婚件数の年次推移をみると、昭和38（1963）年までは減少傾向で推移していましたが、昭和39（1964）年以降増加傾向を示し、昭和59（1984）年から昭和63（1988）年に一旦減少したものの、平成14（2002）年には約29万件とピークとなっています。平成15（2003）年以降は減少傾向が続いています。

令和3年は、婚姻が約50万件、離婚が約18万件ですから、大括りに言うと結婚3組に対し、離婚が1組ということになります。

今回は、人口統計のうち婚姻（結婚・離婚）について見ていきましょう。

1. 令和3年の婚姻（結婚・離婚）の状況

厚生労働省国立社会保障・人口問題研究所「令和3年人口動態統計（確定数）」を見ると、婚姻件数は50万1138件となっています。婚姻件数は、ベビーブームの昭和22（1947）年には約90万件でしたが、数年後には一旦約70万件まで減少したものの、その後再び増加に転じ、団塊の世代が結婚適齢期を迎えた昭和47年には109万9984件

2. 令和3年（2021）社会保障・人口問題基本調査「結婚と出産に関する全国調査（第16回出生動向

昇しています（70・2%・前回調査57・7%）。また、「結婚したら子どもを持つべき」や「女らしさや男らしさは必要」への支持が低下しています。

(2) 夫婦調査

職場や友人を介した結婚が減り（21・4%）、SNSやマッチングアプリといったインターネットサービ

微減となっています。一方、未婚者の3人に1人は交際を望んでいません。「女性のライフコース」の理想像は、男女ともに「仕事と子育ての両立」が初めて最多になりました。

結婚相手の条件として、男性は女性の経済力を重視または考慮するようになり（48・2%・前回調査41・9%）、女性は男性の家事・育児の能力や姿勢を重視する割合が大きくな

職業や友人を介した結婚が減り（21・4%）、SNSやマッチングア

基本調査」結果から見た結婚に関する状況

この調査は、厚生労働省国立社会保障・人口問題研究所による調査で、全国1000調査区に居住する18歳以上55歳未満の独身者と妻の年齢が55歳未満の夫婦（回答者は妻）に対し、令和3（2021）年6月に実施したものです。

(1) 独身者調査「未婚者の結婚・出産に対する考え方」

図1のように、「いずれ結婚するつもり」と考える18〜34歳の未婚者は、男女、年齢、生活スタイルの違いを問わず減少しています。男性は81・4%、女性84・3%となっています。1982年には、男性が95・9%、女性が94・2%という水準でした。「一生結婚するつもりはない」という割合も、2000年代に入ってから上昇し、男性17・3%、女性14・6%となっています。

恋人と交際の割合は男性21・1%で横ばい、女性27・8%で前回から

スを利用して知り合った夫婦が最近の結婚の13・6%を占めています。

45〜49歳夫婦の最終的な平均出生子ども数は、晩婚化を背景に減少（1・81人・前回調査1・86人）しています。また、図2のように、夫婦の平均予定子ども数は横ばい（2・01人・前回調査2・01人）で推移しています。

理想の数の子を持たない理由として「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」を選ぶ夫婦の割合は全体では減少しましたが、依然として最多の選択率（52・6%）となっています。

不妊の検査・治療を受けたことのある夫婦は18・2%から22・7%（4・4組に1組）に増加しています。第1子出産前後の妻の就業継続率は5年間で5割台から約7割に上昇しています。就業継続率は、第1子の妊娠が分かったときに就業していた妻が、第1子が1歳のときも就業していた割合です。就業継続者の79・2%は育児休業制度を利用しています。



Profile

佐久大学客員教授・大阪河崎リハビリテーション大学客員教授  
1956年長野県安曇野市生。1980年早稲田大学政治経済学部卒業。同年厚生省に入省。2014年厚生労働省保険局長、2016年内閣官房地方創生総括官、2018年退官。2021年より、社会福祉法人サン・ビジョン理事長。